

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 厚沢部町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校2校・児童数120名、中学校1校・生徒数82名

○ 実技に関する調査の状況

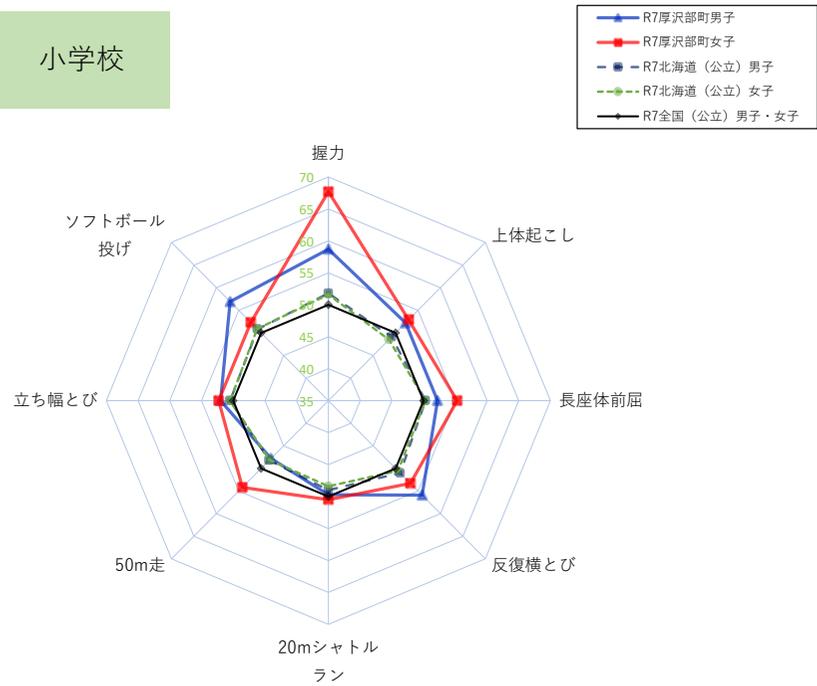
・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7厚沢部町男子	19.36 kg	20.82 回	35.82 cm	45.91 点	47.36 回	9.70 秒	156.00 cm	26.82 m	57.45 点
R7厚沢部町女子	22.45 kg	20.00 回	43.00 cm	41.18 点	37.73 回	9.35 秒	148.00 cm	19.91 m	61.82 点
R7北海道(公立)男子	16.68 kg	18.90 回	34.13 cm	41.71 点	45.85 回	9.66 秒	152.08 cm	21.72 m	53.00 点
R7北海道(公立)女子	16.24 kg	17.54 回	38.38 cm	39.11 点	34.35 回	9.96 秒	143.65 cm	13.56 m	53.55 点
R7全国(公立)男子	15.96 kg	19.46 回	33.88 cm	40.89 点	47.94 回	9.46 秒	150.93 cm	21.06 m	53.01 点
R7全国(公立)女子	15.61 kg	18.36 回	38.15 cm	38.70 点	36.85 回	9.77 秒	142.34 cm	13.11 m	53.97 点

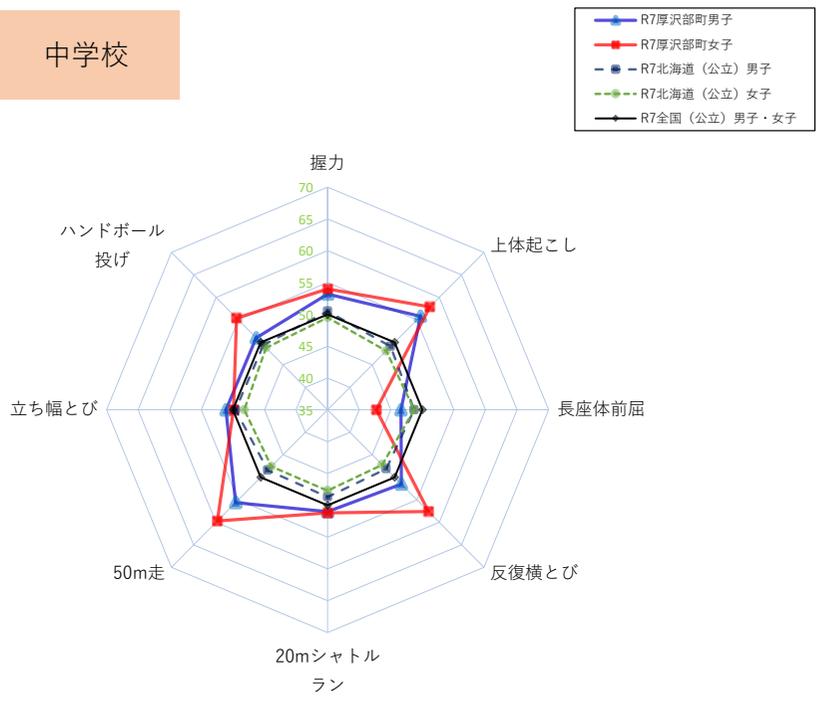
中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7厚沢部町男子	31.33 kg	29.71 回	41.20 cm	53.07 点	81.29 回	7.47 秒	201.08 cm	21.38 m	44.10 点
R7厚沢部町女子	25.08 kg	26.54 回	39.00 cm	51.69 点	53.00 回	8.09 秒	166.15 cm	14.77 m	54.90 点
R7北海道(公立)男子	29.32 kg	25.54 回	43.64 cm	49.85 点	75.47 回	8.15 秒	196.24 cm	20.38 m	40.88 点
R7北海道(公立)女子	22.89 kg	20.53 回	45.54 cm	43.55 点	46.10 回	9.19 秒	161.40 cm	11.92 m	44.70 点
R7全国(公立)男子	28.95 kg	26.09 回	45.12 cm	51.64 点	78.82 回	8.00 秒	197.51 cm	20.74 m	42.20 点
R7全国(公立)女子	23.15 kg	21.70 回	46.99 cm	45.74 点	50.60 回	8.97 秒	166.44 cm	12.43 m	47.58 点

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

小学校



中学校

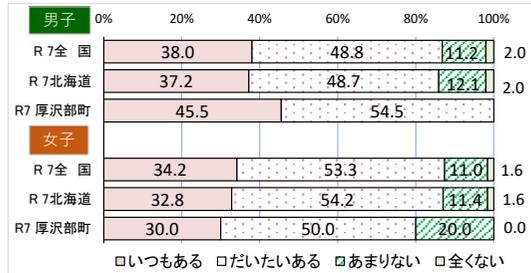


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

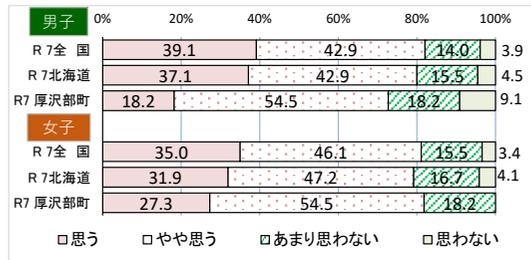
【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

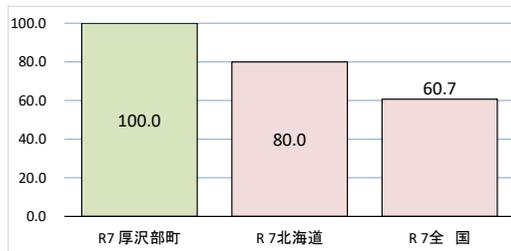
・保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気づいた生活を送れていると思いますか。



【学校質問調査】

小学校

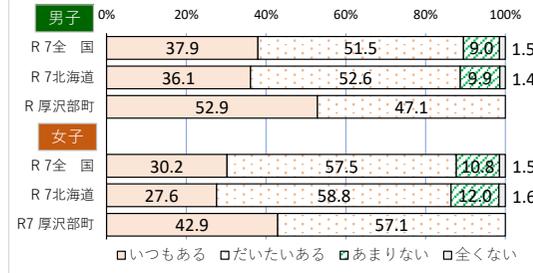
・体育授業で児童同士で話し合う活動をしている



中学校

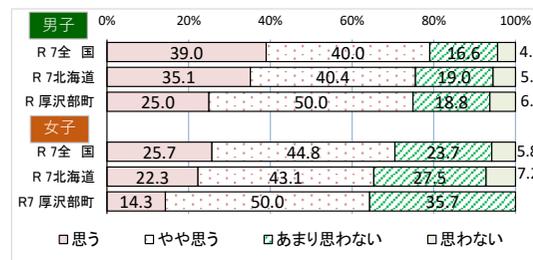
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



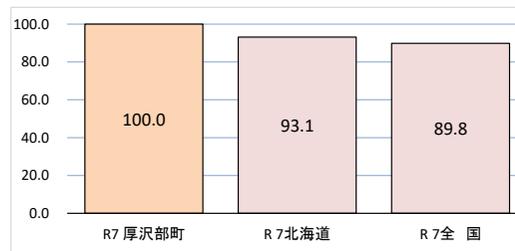
【生徒質問調査】

・保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気づいた生活を送れていると思いますか。



中学校

・保健体育授業において生徒同士で話し合う活動をすべての学年でしている



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、授業での「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習」について、男子の肯定的な回答（「いつもある」・「だいたいある」）が100%に達しています。これは、対話を通じて（「わかった」・「できた」）と強く実感している児童の割合が全国平均を大きく上回っており、協働的な学びが男子児童の確かな理解に結びついています。また、生活習慣の実践に関する女子の意識についても、肯定的な回答の合計は全国平均をわずかに上回っており、保健学習の内容が日々の生活への意識づけに一定の役割を果たしていると言えます。

【課題】

・全国及び全道と比較して、保健の授業で学んだ「運動・食事・休養・睡眠」を実際の生活に反映できていると強く自覚する（「思う」と回答した）児童の割合が男女ともに低くなっています。特に男子は全国平均の半分以下に留まっており、知識としての理解を具体的な行動変容や自己管理へとつなげる指導の充実が求められます。また、女子における「助け合い・教え合い」の学習についても、全国平均を下回る傾向が見られるため、学級全体で学びを高めあう雰囲気づくりや、学習集団としての質の向上が必要とされます。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業における「友達との助け合いや教え合い」を通じた学びが、極めて高い水準で実践されています。男女ともに肯定的な回答（「いつもある」・「だいたいある」）が100%に達しており、特に「いつもある」と回答した割合は、男子で全国16ポイント、女子で17ポイントも上回っています。このことから、生徒同士が互いに学びあう協働的な学びが、中学校の体育の授業において確かな達成感や理解に結びついていると言えます。

【課題】

・全国及び全道と比較して、保健体育で学んだ知識を実際の生活（運動・食事・休養・睡眠）に結び付けて実践できていると自覚する生徒の割合が、男女ともに低くなっています。特に「思う」と強く回答した割合は、男女ともに全国平均を10ポイント以下下回っており、女子においては「あまり思わない」という回答が全国平均より10ポイント以上高い状況にあります。学習した内容を、健康的なライフスタイルの形成という具体的な行動変容や自己管理につなげる動機付けが、中学生においても重要な課題です。

■ 厚沢部町の体力向上に向けた改善方策

- ・厚沢部町体力向上検討委員会における全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発
- ・スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・体力向上に向けた各学校独自の「体力向上1実践」の推進
- ・地域学校協働本部や家庭教育サポート企業等との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組方策の検討及び事業の企画・実施